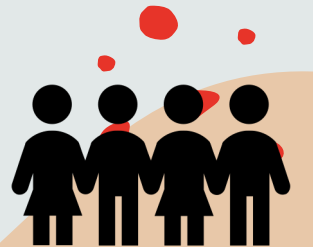


インストラクターが友達になることで  
子どもは規律のあるところを見せようとしています。

例えば、正座で話を聞かせるならインストラクター  
は子どもに点数をあげます。

上手に座っていたら10点etc...

規律について



座れなくて寝転んでしまう子に、  
名前を呼んで「ちゃんと座って」と言う  
と友達の関係ではなくなってしまいます

すると怖がらせる規律の仕方になります

ではどのように伝えるのでしょうか？

規律について



① 友達の環境で規律を教えるのは、  
「座って」と個人を特定するより、

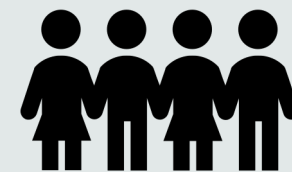
グループで話す方が良いでしょう。

→ 「みんな正座でキレイに座ろう」

② 優しく頼みましょう

友達には優しい言葉で伝えます

規律について

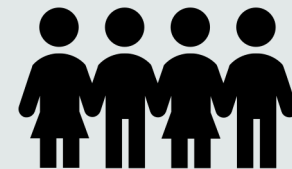


③ 近くに行って、子供だけを聞こえるように小さい声で伝えます。

「ドッチボールする？じゃあ集中してる  
子たちは最後にできるよ」

規律を教えるのに困ったら、ドッチボ  
ールの話をします。

規律につ  
いて



## *Super Praise* -最高の褒めかた-

子どもたちに、「ネガティブな言葉」で規律を教えると  
——  
がよくあります。

EX. 「ちゃんと座らないと、  
ドッチボールできないよ！」



ネガティブな「～ない」を使うと怖がらせる  
規律の教え方になります。

# *Super Praise* -最高の褒めかた-

「ポジティブな言葉」を使うと子どもの考え方が変わってきます

---

子どもがあまり集中できてないとしめます。  
でも次の日、少しでも集中で、インストラクターが  
それに気づいたとすると、その子を前に呼んで

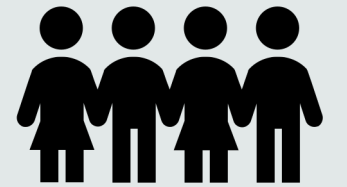


「○○、おいで。今日は集中してるね、難しい日もあるけど、  
できています、おめでとう！」

# *Super Praise* -最高の褒め方-

「どうやって集中できた？今日の集中力は0～10どれくらい？」

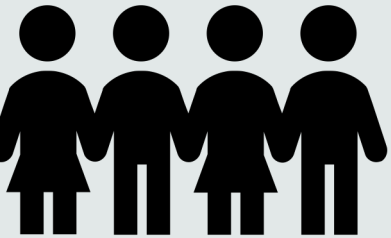
10と答えたら、「すごい、おめでとう！」



子どもにポジティブな言葉を使うと、子どもはインストラクターに見せるため、正しいこと（＝規律のあること）を行います。

これら学んだ方法を活用して、

それでも、子どもがクラスの調和に慣れなければ、  
プライベートレッスンをを行います。



なぜなら、  
その子ひとりにインストラクターの注目がいくと、  
他の子に注目できなくなります。

その場合は、プライベートレッスンが最善となります



プライベートレッスンを何度か行くと、  
インストラクターと親密になり、  
またグループクラスに入りやすくなります。

